

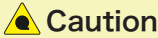
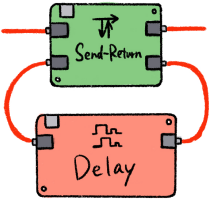
外部のエフェクタに接続し、エフェクトをかける前後の音を混ぜることができます。フィードバックして何度もエフェクタに音を入れることができます。

使い方

- 音源を IN に入れます。Send をエフェクタの入力に入れ、Return はエフェクタの出力を受けるように繋げます。
- IN に入ったそのままの音と、Return から入ってきた音の混ざり具合を **Dry/Wet つまみ** で変えられます。
- **Feedback つまみ** を回すと、Return から来た音を再び Send に送ることができます。右に大きく回すと、IN に音が入ってなくても Send Return と外部のエフェクタだけで大きな音になることがあります。

応用編

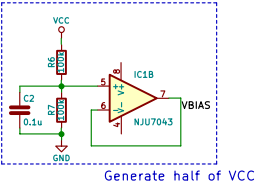
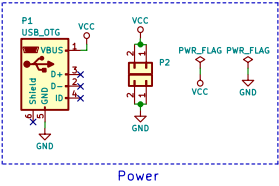
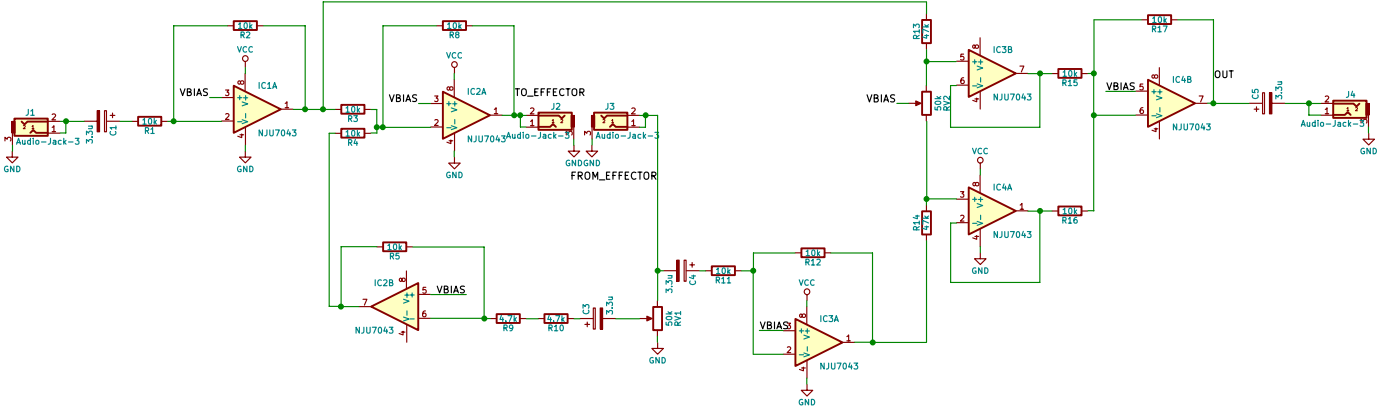
Qux の Delay 基板と組み合わせ、Feedback つまみを回すことでエコーがかかった音を出すことができます。



Caution

Feedback つまみを右に大きく回すと大きな音が出ることがあるのでご注意ください。

回路図



部品

記号	名前	個数
P1	基板用マイクロUSBコネクタ MRUSB-2B-D14NI-S306	1
P2	ピンソケットなど自由に	1
R1-5, 8, 11-12, 15-17	抵抗 10k Ω (茶黒橙金)	11
R6-7	抵抗 100k Ω (茶黒黄金)	2
R9-10	抵抗 4.7k Ω (黄紫赤金)	2
R13-14	抵抗 47k Ω (黄紫橙金)	2
RV1-2	可変抵抗 50k Ω [503]	2
C1, 3-5	電解コンデンサ 3.3 μ F	4
C2	フィルムコンデンサ 0.1 μ F [104]	1
IC1-4	NJU7043 (オペアンプ) IC ソケット 4x2	4
J1-4	オーディオジャック MJ-352-O	4